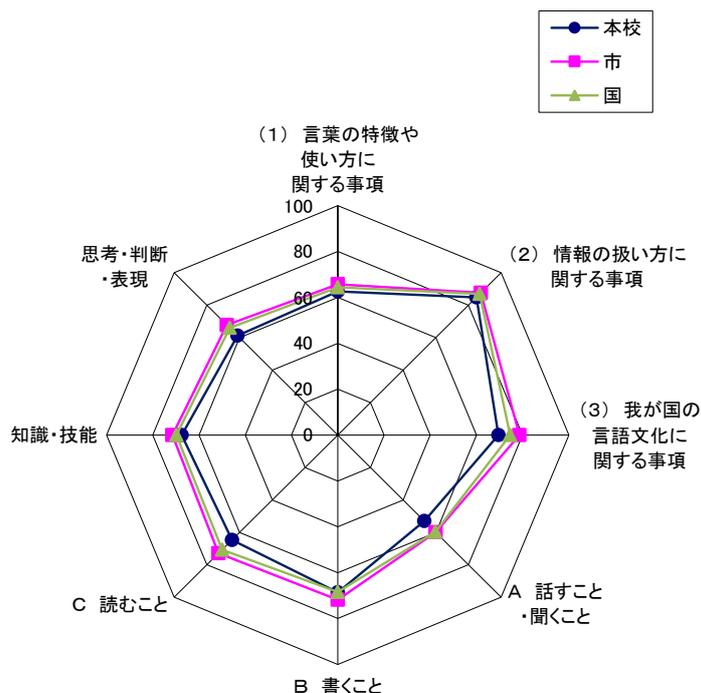


宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	62.6	65.7	64.4
	(2) 情報の扱い方に関する事項	84.8	87.6	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	69.5	78.6	74.6
	A 話すこと・聞くこと	53.0	59.9	59.8
	B 書くこと	68.6	71.8	68.4
	C 読むこと	64.6	72.9	70.7
観点	知識・技能	67.5	71.5	69.8
	思考・判断・表現	61.3	67.8	66.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は全国と比べて少し下回っている。 ○やり取りをする際の相手に応じた話し方を選択する設問では、正答率が7割以上と全国平均と同等であった。 ●既習の漢字を書きとる設問では、正答率が5割を下回ったが、全国平均より2.5ポイント上回った。 ●ある述語に対して適切な主語を選択する設問では、全国正答率と同等の6割程である。	・漢字の書き取りに関しては、全体指導と共に、個に応じた指導・支援のアプローチをしなから一人一人が漢字を書きとる力が高まるようにしていく。 ・普段の授業の中で、語彙を増やし、その意味や使い方を丁寧に指導していく。また、物語や説明文を読んでいく単元では、主語述語の関係を意識させながら読みとりを深めていくようにする。
(2) 情報の扱い方に関する事項	平均正答率は全国と比べて少し下回っている。 ○イメージマップで書き表したメモの説明として適切なものを選択する設問では、正答率は8割以上であったが、全国平均正答率より2.1ポイント下回った。	・今回イメージマップで書き表したメモの説明として適切なものを選択する設問では、8割以上の正答率であった。国語の時間のみならず、総合的な学習の時間や社会などの他教科の学習でも思考ツールを使ってきた成果がでている。今後も、国語の授業の中でも思考ツールを効果的に使い、児童が集めた情報を書き表し、整理・分析していくような活動を継続していく。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は全国と比べて下回っている。 ●与えられた情報を読み取り、その説明として適切なものを選択する設問では、正答率が全国平均より5.1ポイント下回った。	・与えられた複数の情報を読み解き、理解した上で適切な回答を選ぶことが難しい。一つ一つの情報の読み解き方、手順、見方・考え方の視点なども普段の授業の中で丁寧に指導していく。特に、資料活用、情報を読み解く単元では、重点的に情報を読み解くための見方・考え方の指導をしていく。
A 話すこと・聞くこと	平均正答率は全国と比べて下回っている。 ●オンラインで交流する場面において話し手の工夫点で適切なものを選択する設問では、全国平均正答率より8.8ポイント下回った。 ●やり取りをするときに、事前にメモを準備しておく良さを選擇する設問では、全国平均正答率より13.3ポイント下回った。	・話すこと・聞くことの項目であるが、問題は記述された会話のやり取りを読んで、理解することが大切な設問であった。つまり、読むことの種類と関連している問題である。普段の授業の中でも、教師の説明を一人一人がどのように聞き取り、理解しているのか確認していくことを大切にしていきたい。さらに、各授業の中で、児童の気持ちや考えを言語活動で表出する場面を設定していく。
B 書くこと	平均正答率は全国と比べて同等である。 ○メモを活用して文章をどのように書き表したのか適切なものを選択する設問では、8割以上の正答率であり全国平均より2.0ポイント上回った。 ●設問の条件に合わせて「たてわり遊び」のよさを記述する設問では、全国平均より2.5ポイント下回った。	・上記の「話すこと・聞くこと」の指導の重点でも記述したが、普段の授業の中で、気持ちや考えを音声で表出させた上で、感じたこと、振り返ったことを書く時間を意図的に設定していく。思いを高めて書く場面設定を大切にしながら、書くためのポイントや表現方法、形式などの具体的な知識・技能に関連する指導をしていく。
C 読むこと	平均正答率は全国と比べて下回っている。 ●物語を読んで心に残ったところとその理由を条件に合わせて書く設問では、全国平均正答率より14.0ポイント下回った。	・児童は一人一人それぞれの読みをしている。普段の授業を通して、読んだ感想を交流していきたい。特に友人間での読みのズレに着目させて、丁寧に語句を調べ直したり、自分の考えや感想の根拠を対話的活動で深めていく授業展開をしていく。全体で焦点化した課題を、確認、練り上げていくことで物語や資料を深く読めるように指導していきたい。